

# THE Y S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2019~2020年度 No.234

## 7月 月報

那須クラブ会長 主題

### 地域につなげ那須ワイズ



強調月間：キックオフ  
YMCAサービス  
ASF・RBM

#### 今月の聖句

だれでも、聞くのに早く、話すのに遅く、また怒るのに遅いようにしなさい。

ヤコブの手紙1：19

#### ・7月第1例会(キックオフ・総会)

日時：7月25日(木)午後6時30分から

場所：日本キリスト教団 西那須野教会

司会 副会長 田村 修也

開会点鐘 会長 河野 順子

ワイズソング・ワイズ信条 一同

聖書朗読・祈禱 司会者

会長挨拶

ビジター紹介

会食

総会 議長 河野 順子

2018~2019年度事業報告

2018~2019年度会計報告

2019~2020年度事業計画(案)

2019~2020年度会計予算(案)

その他・懇談

諸報告 那須ワイズ

那須YMCA

YMCAの歌 一同

閉会挨拶・点鐘 会長 河野 順子

会費：1,000円

出欠の連絡は7月22日(月)までに田村副会長迄

場所の案内：那須塩原市太夫塚1-232-438

2019~2020年度 主題

国際会長：(IP) Jennifer Jones (オーストラリア)

「より良い明日のために今日を築く」

アジア太平洋地域会長：(AP) 田中 博之(東京多摩みなみ)

「Action!」

東日本区理事：(RD) 山田 敏明(十勝)

「勇気ある変革、愛ある行動!」

北東部長：鈴木 伊知郎(宇都宮東)

「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨きましょう!」

#### クラブ役員

会長：河野 順子

副会長：村田 榮・田村 修也

書記：藤生 強

会計：村田 榮・鈴木 保江

担当主事：藤生 強

ブリテン：田村 修也・村田 榮

#### 6月例会データ(出席率：83.3%)

在籍者 6名

例会出席者 4名 メネット 1名 ゲスト 1名 YMC

Aスタッフ 1名 メイクアップ 1名

#### 7月 Happy Birthday

7/8 村田 紀美子メネット

7/11 鈴木 保江ウィメン

#### ・第28回アジア太平洋地域大会・北東部大会

日時：7月19日(金)~21日(日)

場所：仙台国際センター

#### ・8月第2例会(役員会)(予定)

日時：8月2日(金)午後12時30分から

場所：ココス西那須野乃木店

#### ・8月第1例会(納涼例会)(予定)

日時：8月24日(土)午前10時30分から

場所：塩谷キャンプ場

## 7月巻頭言

会長 河野順子

### 雨の恵み

梅雨のこの時期、シトシト雨でなく、豪雨により南九州地方は大きな災害になっている。今春、栃木県は雨が少なく、作物に水まきをする光景があちこちで見られた。梅雨に入って恵みの雨と思っていたら度を越したようだ。

数日前の朝日新聞に「雨に唄えば」というシリーズがあり気象学者藤吉康志氏の文章があり、引きつけられた。以下、引用する。

「雨はどんな形で降るか。日本画やゴッホでも雨を線で表現している。秒速10メートルに近い速さで雨粒は落下する。肉眼では捉えにくいので当然だ。実際には、直径3ミリ以下の雨粒は表面張力によりほぼ球形。それより大きいと空気の抵抗力が強く下が平たい鏡餅のような形。直径9ミリ以上はすぐに破裂してしまう。雨粒の大きさは様々な現象に影響する。虹が一番美しいのは直径2ミリ程度の時。雨粒は球形で光がきれいに7色に分かれるから。尾瀬の発虹は、霧雨の粒が小さく、分光効果が落ちるためだ。大きな雨粒ほど斜面にあたる時の衝撃が強く、土砂災害も起きやすい。温暖化が進む近年、大きな雨粒を含んだ強い雨の発生頻度が増えていることも分かった。が、知られていないことは、雨雲が大気の「除湿器」ということ。赤外線吸収して大気を暖める水蒸気を取り除く役割がある。つまり、雨は温暖化する地球でバランスを取ろうとしている。雨を悪者にせず、精度の高い降雨予報を参考にして減災を心がけることが大切。」という文章だった。私が子どもの頃の梅雨と違う雨の降り方が地球温暖化と関係していると知り、生活に何不自由のない近代化の功罪を思い知った次第である。

時雨、五月雨、霧雨、こぬか雨、入道雲と雷と夕立など、表現豊かな情緒的雨を失いたくないものであると感じた。



## 6月(YMCA報告)例会

会長 河野 順子

日時: 2019年6月28日(金)午後1時30分～午後3時

場所: 日本キリスト教団 西那須野教会

参加者: 河野、田村、原田、村田の各メン。原田、メネット。ゲスト1名(塩澤総主事宇都宮クラブ)、YMCAスタッフ1名(平山主事)。合計7名

6月例会は、(公財)とちぎYMCA総主事塩澤達俊氏をお迎えし、とちぎYMCAの現状と展望についてお話を頂き、その後那須ワイズのメンバーとフリートーキングの形で議事は進んでいった。

### 1. 塩澤総主事のお話

#### \*今年度活動の現状と展望

##### とちぎYMCAの会則変更

・今年度から「常議員会」零年として復活する予定である8月に開催予定。

野外活動なども活発にしていくつもりである。

・公益財団法人として、30年度490万円の赤字であるが、発展的赤字と解釈している。

・子ども支援の中で(貧困家族)剥奪指標の減少に取り組んでいく。

・野外活動の一環とした塩谷キャンプ場において、復旧復興に取り組んでいきたい。

### 2. 塩谷キャンプ場の整備と今後の活用

・6月25日(火)那須ワイズの前田・田村・河野・原田メネット・担当主事藤生のメンバーは、地元のマルイチ工業の社長(塩谷キャンプ場の吊り橋を造設した方)と現場に集まり、復旧可能な相談を行い、整地に必要な見積もりを出して頂いた経緯を河野が説明。

・原田メンから「思い立った時だけ、その気になっても数年また、放っておいては同じことになる。やるなら継続的に。(公財)とちぎYMCAの不動産なのだから」と示唆を受ける。

・塩澤総主事は、野外活動が減少していることを鑑み、ぜひ、復旧復活して、野外活動を活発にしていきたいとの発言があった。正副理事長会を通してゴーサインを出したいとの発言であった。

### 3. 報告 YMCA

・今から準備をして、次年度にはボランティアスクールができるようにしたい。母校高校を訪ね、学生達との会話にもボランティアスクールを希望する学生達がいることを確認。(平山雄大那須YMCA担当職員)。

後日、正副理事長会議で塩谷キャンプ場の篠竹・雑草等の狩払いの許可が出て実施をされた。

## 7月第2例会(役員会)報告

日時: 7月5日(金)午後12時30分～

場所: ココス西那須野乃木店

出席者: 河野会長、村田副会長、藤生書記、平山YMCAスタッフ、

協議事項

### 1. 7月例会の件

7月25日(木)午後6時30分より、キックオフ例会(クラブ総会)を行う。場所としては、西那須野教会で行う。会費は、1,000円とし、弁当を準備する。内容は、報告と年間計画。

### 2. 2019～2020年度年間計画の件

2018～2019年度計画にプラスするものとしては、ユースリーダーの研修、ボランティアスクールの再開、御園老人ホームへの慰問、塩谷キャンプ場に活用等を盛り込む。

### 3. 8月例会の件

8月24日(土)に塩谷キャンプ場にて、ユースリーダーを巻き込んだ納涼例会を行う。

4. 7月ブリテンより、例会の内容を入れるように刷新を図る。

5. 8月第2例会(役員会)について、8月2日(金)午後12時30分からココスで食事をとりながら行う。(予定)

### 6. その他(今後の予定)

・第28回アジア太平洋地域大会 7月19日(金)～21日(日)(仙台国際センター)河野会長と村田副会長・村田メネットが参加予定。21日(日)の午後、仙台国際センターにおいて北東部大会が行われる。

## 旧西那須野(那須西原)の緑と水(第74回)

田村修也

1. 政府より貸下げを受けた、総反別の3分の1を灌漑面積と仮定する。

2. 1によって仮定した面積に対し、疎水全水量200個を反別に応じて配当する。

3. 1及び2によって決定した各社水量を、各社の所在地によって、それぞれの支線に配属させ、その支線の総水量とする。

以上の決定によって、全水量200個のところ、計算の都合によって、199個8分9厘と決定して、直ちに、分水路開鑿願と、配水願を樺山資雄県令に提出しました。

※200個は1個が3尺<sup>3</sup>で、総量毎秒約5.56

m<sup>3</sup>の水量になります。

那須疎水之議、今般土木局ニ於テ直轄御起業ニ相成、幹線二限り、御開鑿相成、支線之議者、核開墾人、自費ヲ以テ開鑿仕候ハ勿論ニ有之候処、何レモ創業ノ際、格外ノ経費モ支消罷在候上、両三年来、農産物ノ下落一層甚敷、為メニ収納ノ予算ハ、案外減額致シ、目下維持方法ニノミ、各自困難罷在候仕合、去迎無上之御仁恵ニ甘エ、尚懇願候様ニテハ甚不本意ニハ奉存得共、時期柄、各開墾者ノ困難、御洞察被成下置、何卒別紙廉絵図之通り、東西へ二線ズツヲ限り御開鑿被成下候様仕度、然ル上ハ、其支線ニ依リ、各自配水仕、直ニ相応之開発致シ、御国恩ニ奉報候様仕度、一同此段只管奉歎願候成。

明治18年5月27日

磯 金平外 15名惣代	郡司忠平
鈴木義達外 15名惣代	滝田祇徳
印南詠帰外 4名惣代	細小路孫人 成田久八
片岡政次代理	印南文作
中村元保代人	大家森重
西山真太郎代人	蟹江大平
石丸安世外 7名惣代	増淵保次郎
共墾社惣代	蟹江大平
深川亮蔵外 13名惣代	大家森重
東肇耕社惣代	堀 三義
那須東原開墾者代人	古沢花三郎
毛利元敏代人	林 和人
西郷従道・大山巖代人	黒田恒七郎
肇耕社惣代	田上貞質
那須開墾者惣代	矢板 武 印南文作
青木周蔵代理	俵田閑作

栃木県令 榊山資雄殿

この願に対して、次のような指令がありました。  
書面願之趣、内務省土木局ニ於テ、施工相成候条、其旨可相心得事。

明治18年8月12日

栃木県令 榊山資雄

また、配水願は次の通りでした。

那須原疎水分配願

那須東西両原疎水之儀、土木局ニ於テ直轄御起工相成候ニ付、今般私共一同、集会熟議ノ上、別冊ノ通契約仕候間、水量ノ儀ハ、別表ニ依リ、配水被成下度、此段奉願候也。

名所18年5月27日

(願人は分水路開鑿願人と同じ)

疎水分水表については、分水口順番、地名〇拝借人

名②拝借総反別③3分の1反別④分水水量の順に記載します。

第1分水 那須東原

○毛利元敏①906町歩②302町歩③11.86個(1個は3尺<sup>m</sup>)

○西山真太郎外5名①373町歩②124町歩③7.74個

○石丸安世外6名①233町歩②78町歩③4.87個

○深川亮蔵外13名①254町歩②85町歩③5.31個

○共墾社 ①108町歩②36町歩③2.24個

○中村元保①128町歩②43町歩③2.68個

第1分水小計①2002町歩②668町歩③41.70個

第2分水 那須東原

○東肇耕社①683町歩②228町歩③14.30個

○片岡政次①239町歩②80町歩③4.99個

第2分水小計①922町歩②308町歩③19.29個

第3分水 那須東原

○那須東原開墾社①985町歩②328町歩③20.49個

第4分水 那須東原

○青木周蔵①582町歩②194町歩③12.11個

那須東原の10の開墾地へは、第1分水から第4分水迄、拝借地反別4491町歩、3分の1反別1498町歩、そして、分水水量は93.59個となり、毎秒2.60m<sup>3</sup>の水量が供給されることになりました。(以下次号へ)

## 西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園

園長・理事長 福本 光男

### 「子ども子育て新制度を振り返って」

2014年9月21日、「運営を続けられなくなるので、認定を返上せざるをえません(朝日新聞2面)」という私の入園説明会での発言が新聞に掲載された。新制度の幼保連携型認定こども園に移行すると、栃木県の試算で7,300万円、認定こども園協会を通した国の試算でも5,700万円の減収が生じ、その数字は破産を意味した。2011年4月から続けてきた全ての子どもたちと子育て支援家庭の最善の為に幼保連携型認定こども園西那須野幼稚



園の認定を返上する以外の選択肢はなかった。しょうがいのある子どもたち47名を担当支援している加配教諭14名に辞めてもらえというのか。今いる子どもたちや教諭の人権を考えないばかりか、認定を受け幼保連携型認定こども園としてパイオニア的に取り組んできた当施設が、新制度に移行出来ないという事に対して、私たちは忸怩たる思いであった。

本園は、1957年に日本キリスト教団西那須野教会附属幼稚園として開園した。1963年学校法人化、2007年放課後児童クラブ開設、2011年4月隣接のこひつじ保育園と幼保連携型認定こども園西那須野幼稚園の認定。2015年3月に認定を返上したが保育園児と合同保育をしている。そして、2019年4月幼稚園型認定こども園の認定を受けた。そして、2017年には県内で民間初になる児童発達支援センター「シャローム」を開設した。建学の精神は「自分を愛するように他の人を愛しなさい(聖書)」である。しょうがいのある子どもは47名、外国籍の子どもは26名在籍し、インクルーシブ教育を実践している。

本園の活動の特徴は、子育て支援機能を持つ認定こども園が、自園スタッフに加え外部の専門家の支援を受けながら、均一でない多様な子育て支援のメニューを通して、きめ細やかな子育て支援をしていることである。また、子育て支援機能を中心に、子育て中の親だけではなく、地域の個人、諸団体、自治会との接着剤的役割を果たしながら、同じ社会的資源の一つとして協力し合うことによって共に支え合う地域(ケアリング・コミュニティ)の構築を追求している。

今後の課題について、短期的課題としては、教育・保育の質の向上に加え、子育て支援の多様なニーズに対するメニューの提供である。妊娠(前)からの子育て支援、訪問型(出前)子育て支援、しょうがいのある子どもの子育てに関連した福祉型児童発達支援センター(児童発達支援、放課後等児童デイサービス、保育所等訪問支援、障害児相談支援)の充実、子どもとの関係を重視した高齢者デイサービス等である。

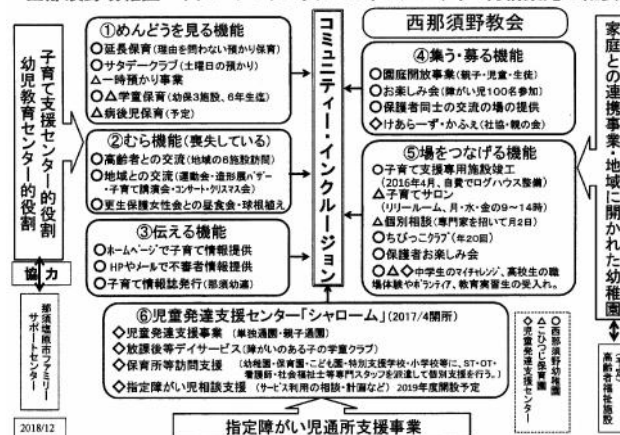
また、長期的課題としては、人口減少社会の地方にあって、消滅する地域ではなく、持続可能な地域形成のために、教会と一緒に、子育て支援を核とした乳幼児保育・教育、学童クラブ、高齢者、しょうがい児・者の共生を大切に作る包括的・多機能支援拠点として地域作りに励むことである。

最後に2015年度に新制度の幼保連携型こども園に移行が出来なかった事は、当時の私たちにとって背負いきれない十字架のように思えた。しかし、

認定を返上し子どもたちや教諭の人権を大切にしたい姿勢が、教会と幼稚園との関係を更に強いものとした。そして今までの0歳の保育園児から放課後児童クラブの小学6年生までの縦方向だけでなく、児童発達支援事業という横方向への広がりを持つ機会となった。私たちはこれからも教会幼稚園として、主

にあって地域と共に歩みたい。  
(日本基督教団全国教会幼稚園連絡会機関誌 原稿加筆修正)

西那須野幼稚園「トロ・プロジェクト2000(コミュニティ再構築)」の概要



## 聖園那須老人ホームだより

社会福祉法人 イースターヴィレッジ  
聖園那須老人ホーム 施設長 赤坂 英昭  
「共感」

雨上がりの紫陽花の美しさはこの季節ならではの目の楽しみです。ホームの庭の紫陽花も露に美しく濡れ輝いております。一方で雨の日には憂鬱に感じたり古傷が痛んだりと身体の不調を感じる方もいると思います。私たちの体は気候の影響を知らず知らずのうちに受けているようです。雨が降ると古傷が痛むのは気のせいではなく、天候と痛みの関係は科学的に証明されているとの事で、痛みに大きな影響を及ぼしているのはやはり「気温、気圧、湿度」の3つで、これは「天気痛の3大要素」でありこの3大気圧要素の変化を感じることで古傷の痛みが出ることが多いとのことでした。

私も十年前に地域の運動会の徒競走に出場しスタートと同時に先頭を走っているつもりでしたが、そのイメージとは裏腹に遅れていく自分に焦り、気が付いた時には激しく転倒し膝を骨折して、一瞬にして車いすの生活となってしまいました。その時の古傷の痛みと共に身体障害者デイサービスに支援員として接していたころを思い出します。

施設に通所されてくる方々も事故などの理由により頸椎損傷や脊椎損傷のため車いす生活を余儀なくされた方々でした。あらゆる対人援助の場面で最も

大切な基盤となるものは「傾聴、受容、共感」である事は言うまでもありませんが、他人に共感するという事がいかに難しいかを改めて思い知った出来事でもありました。膝の痛みと共に昨日まで当たり前のようになっていた事が出来なくなった生活、特にトイレや自分の周囲にある物を取るといった何げない動作が思い通りにいかないということの辛さ・切なさはまさに筆舌に尽くし難いとしか表現できない体験でした。それまでは自分自身は援助する立場にあり、援助を受ける立場の方々より常に優位な立場にあるという事を意識することはできませんでした。しかし実際には様々な場面でそういう立場の違いを常と感じ取ることができないと、相手に共感するという事がどれだけ難しいかを痛感させられたことでした。

共感とは、自己の優位性を捨て、相手の立場になって、相手の感情や思考や境遇を理解しようとすることであり、今後も職員一同入所者の共感的な理解を深め信頼関係の構築に努めて行きたいと思えます。

## YMCAだより

### 【第14回チャリティーランのご報告】

6/23(日)に「道の駅うつのみや ろまんちっく村」にて開催いたしました。たすきリレー54チーム、スタンプラリー参加者117人・スタッフ、ボランティア285人の総勢878人の参加がありました。心配されていた天気も皆様の願いが届き奇跡的な好転に恵まれました。那須YMCAからは6名のリーダーが参加しました。



また、今回もチャリティーランにお越し頂いた方々と思いを一つに会場を一周する「エンジョイラン」を実施することができました。毎年協力してくださる「よさこいグループ勢や」のパフォーマンスに会場内盛り上がる事ができました。この大会が盛会のうちに開催できましたことは偏にご支援ご協力くださいました多くの皆様のお陰と感謝しております。那須YMCAは今年もシイタケ昆布の販

売を行いました。

### 【とちぎYMCA・那須YMCA7月の予定】

- ・7/6(土) サタデークラブ@お菓子作り
- ・7/6(土) I C E P ウェルカムパーティー
- ・7/7(日) Yキッズ@板荷せせらぎプール
- ・7/13(土) サタデークラブ@なかがわ水遊園
- ・7/20・21(土・日) I C E P English Camp
- ・7/26(金)～ サマープログラム開始

### ユースリーダーのつぶやき

1. 名前(リーダー名) 2. 学校名 3. 出身地 4. YMCAに入ったきっかけは? 5. 思い出に残った活動とその理由は? 6. 今後の進路は? 7. YMCAに一言



- ① 薄井沙也加(ラミ)
- ② 国際医療福祉大学保健医療学部看護学科
- ③ 栃木県
- ④ 高校生のときにYMCAの活動に参加してコミュニケーションについて学ぶことが多く楽しいと思ったから

⑤ 思い出に残った児活動は6月Yキッズです。メンバーと一緒にどんな作品にしたいか考えて絵付けして出来上がったときに、メンバーにいい作品ができたと言ってもらえたからです。

⑥ 看護師

⑦ 幅広くたくさんの人と関わることができ、コミュニケーション能力を高められるこの最高の場所で、もっと自分のスキルを上げていきたいです!

### 編集後記

・今月号よりブリテンを変更してみました。皆様のご意見をお願いします。1ページを見ていただければ例会の内容がわかるようにしました。例会時に1ページを印刷してお持ちください。

・長雨と寒冷による農作物への影響が心配されます。すくすくと育てほしいものだと願っております。

### 会計よりお願い

・新年度の会費の納入をお願いします。東日本区に対する協力の在り方も検討したいものです。